

# 令和5年度 第2回 幕別町社会教育委員会議

日 時 令和5年7月12日（水）午後3時

場 所 幕別町役場 3階会議室3-A、3-B

## 日 程

- 1 挨拶 幕別町社会教育委員会 委員長 原田 啓二
- 2 第6次生涯学習中期計画の概要について
- 3 部会長の選出について 1
- 4 第7次幕別町生涯学習中期計画案の策定方針について 2
- 5 部会協議 3
  - ・アンケート調査項目について
- 6 その他 4
  - ・第6次計画事務事業評価について

## ○次回の会議開催予定

開 催 日 月 日 ( ) 午前・午後 時

開催場所 教育委員会会議室

## 《別添資料》

- ・第6期幕別町総合計画（第1章・第4章）
- ・アンケート調査用紙（9～17歳用、18歳以上用）
- ・第5次計画評価表

### 3 部会長の選出について

#### ○部会構成

番号	委員氏名	委員長	副委員長	部 会			
				社会教育	社会体育	学校教育	生涯学習推進
1	森 浩嘉		○			○	
2	小島 政裕				○		
3	近藤 泰子			△			
4	高道 昭夫				○		
5	宮本 彰			○			
6	新倉 榛名				△		
7	原田 啓二	○		○			
8	三井 央一					○	
9	池田 明子				△		
10	小林 鈴菜					△	
11	新保 都				△		
12	松田 哲博			○			
13	加藤 広規					○	
14	鳥毛 浄生			○			
15	井原 みきえ					△	
人 数		1	1	5	5	5	3

△：女性

#### ○部会長選出

- ・社会教育部会 \_\_\_\_\_ 委員
- ・社会体育部会 \_\_\_\_\_ 委員
- ・学校教育部会 \_\_\_\_\_ 委員
- ・生涯学習推進部会 \_\_\_\_\_ 委員 ※部会長3名の中から選出。

## 4 第7次生涯学習中期計画案の策定方針について

### ○第7次生涯学習中期計画の構成について

現在、幕別町として中核をなす計画は、平成30年3月に策定された「第6期幕別町総合計画（2018～2027）」であるが、策定後5年が経過したことから、前期5年間の進捗状況の評価と、本町を取り巻く社会情勢の変化から生じる新たな課題に対応するため、令和5年度から5年間の「後期見直し計画」が策定され、この計画を基本に、個別に様々な計画が見直し、策定されることになる。

「幕別町生涯学習中期計画」もその1つであり、幕別町総合計画に準じて策定されるべきものである。

このことから、今回策定しようとする第7次計画については、幕別町総合計画の基本計画に沿った項目立てとし、これにより、策定する計画の今後の進捗状況や評価、さらには新たな展開をする上において、効果的なものとなる。

なお、第6次計画は、「推進事業・事項など」の欄に詳細な事業名を記載しつつ、施策の方向性を示す表現で記載しているが、第7次計画においても、引き続き第6次計画に準じて策定することとする。

### ○第7次生涯学習中期計画の策定について（部会ごと）

第3章の「基本計画」（第6次中期計画書15ページ以降）では、それぞれの項目において【現状と課題】、【基本方針】、【方策】からなっている。

【現状と課題】、【基本方針】は担当職員が総合計画に沿って作成することとし、部会では、第7次計画に記載すべき【方策】（推進項目、推進事業・事項など）についての検討をする。

※【方策】（推進項目、推進事業・事項など）の追加と削除

- ・現在は事業として行っていない場合でも、今後において望まれる事業がある場合は、その名称等を記載することとする。
- ・現在も今後も「施策・事業展開」が見込めない場合は、事業名等を削除することとする。

## 5 部会協議

### ○ アンケート調査について

#### (1) 調査の基本方針

5年前との比較をするため、前回のアンケート項目を基本とする。

○今回追加する項目：自由記述

- ・
- ・
- ・

○今回から削除する項目

- ・ (問\_\_\_\_)
- ・ (問\_\_\_\_)
- ・ (問\_\_\_\_)

(2) 調査区分 9～17歳、18歳以上の2階層とする。(2種類の調査票)

#### (3) 抽出方法

○4月1日現在、9歳以上の者について年齢ごとに抽出する。(無作為抽出)

- ・抽出したデータを、幕別、札内、南幕別、忠類の4地域に分け、年齢ごとに5%を乗じた数をアンケートの対象者数とする。

※端数は四捨五入とする。

※6月末日現在の住民登録者数 26,000人×0.05=1,300人

(H30年度)・発送数	9歳～17歳	704人	18歳以上	796人	計	1,500人
・回答数	9歳～17歳	319人	18歳以上	306人	計	625人
・回収率						41.7%

#### (4) 調査方法

○郵送により行う。

○9月に発送し、10月末までに集計する。

## 6 その他

### ○第6次生涯学習中期計画の評価について

- (1) 3部会に分かれて評価を行うこと。
- (2) 「第6次計画評価表」の「評価担当部会」の欄の該当する部会の方策について評価すること。
- (3) 評価は、評価表の右側、「評価」「今後の方向性」「課題」について記入すること。  
※進行は部会長が行う。  
※部会の評価を記録するとともに、完了後はすみやかに事務局へ報告(提出)する。  
※「課題」は必ず記入しなければならないものではない。
- (4) 「評価」欄は、1ページ右上の「評価区分」に応じて記入すること。
- (5) 「事業・内容等」について、確認したいことがある場合は、教育委員会の担当職員に説明を求めること。
- (6) 評価をすべて終えることができない場合は、後日、部会単位で評価の場を設定することとする。

○令和5年度 幕別町社会教育委員名簿

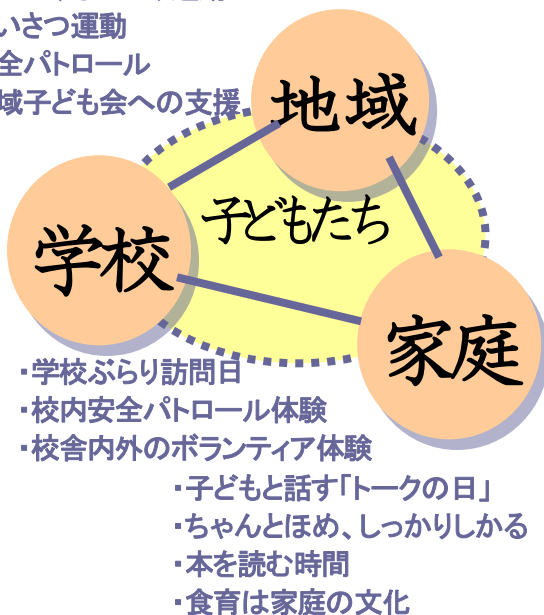
番号	氏名	郵便番号	住所	備考
1	もり ひろよし 森 浩嘉			(1)学校教育関係者
2	こじま まさひろ 小島 政裕			(1)学校教育関係者
3	こんどう やすこ 近藤 泰子			(2)社会教育関係者
4	たかみち あきお 高道 昭夫			(2)社会教育関係者
5	みやもと あきら 宮本 彰			(2)社会教育関係者
6	にいくら はるな 新倉 榛名			(2)社会教育関係者
7	ほらだ けいじ 原田 啓二			(2)社会教育関係者
8	みつい ふみかず 三井 央一			(2)社会教育関係者
9	いけだ あきこ 池田 明子			(3)学識経験者
10	こばやし すずな 小林 鈴菜			(3)学識経験者
11	しんぼ みやこ 新保 都			(3)学識経験者
12	まつだ てつひろ 松田 哲博			(3)学識経験者
13	かとう ひろき 加藤 広規			(3)学識経験者
14	とりけ じょうしょう 鳥毛 浄生			(3)学識経験者
15	いはら みきえ 井原 みきえ			(3)学識経験者

任期：令和6年5月29日まで

# 毎月19日は まくべつ教育の日

たとえばこんなこと

- ・子ほめ、子しかり運動
- ・あいさつ運動
- ・安全パトロール
- ・地域子ども会への支援



いっしょに読む・食べる  
いっぱい遊ぶ・話す  
しっかり聞く・見る

- ・学校ぶらり訪問日
- ・校内安全パトロール体験
- ・校舎内外のボランティア体験
- ・子どもと話す「トークの日」
- ・ちゃんとほめ、しっかりしかる
- ・本を読む時間
- ・食育は家庭の文化

## ○幕別町教育の日憲章

わたくしたちは、自己を高め、明るく豊かな暮らしが営めるよう、毎月19日を幕別町教育の日と定め、ふれあい、響きあい、磨きあいながら、ともに伸びる教育をめざします。

- 1 あたたかい家庭をめざして
  - ・家族だんらんの機会をふやし、子どもの自主性と個性、やさしい心を育てます。
  - ・家族が協力して、子育てにあたります。
- 2 あかるい地域をめざして
  - ・子どもは地域の宝、まちの宝、あたたかく成長を見守ります。
  - ・子どものために、よりよい環境をつくれます。
- 3 たのしい学校をめざして
  - ・ゆとりある教育をめざし、豊かな心をはぐくみます。
  - ・来て・見て・知って、みんなで学校づくりにつとめます。

子どもをまん中に  
家庭・地域・学校が一つに

## ※ 参考

### (1) 生涯学習中期計画の策定について

#### ○ 諮問から答申までの手順と基本的な流れ

1 教育委員会が社会教育委員会に諮問する。



2 教育委員会の諮問に応じ、生涯学習の観点に立った総合的な教育計画に関し必要な調査及び審議を行い、生涯学習中期計画案を策定する。



3 分野別の専門部会を構成する。

審議を効率的に機能させるために、社会教育部会、社会体育部会、学校教育部会、生涯学習推進部会の4部会を構成する。なお、町部局関係者は必要に応じて、その都度部会のメンバーに入る。



4 専門部会を開催する。

専門部会ごとに会議を開催し、次のことを協議する。

- (1) 各専門部会が担当している分野に関する全般的な状況の分析
- (2) 教育行政だけでなく、一般行政関係も含めた施策の現状分析
- (3) 施策の現状分析に基づき、今後の生涯教育を振興する上での問題点の分析
- (4) 抽出された問題を解決するための課題の設定
- (5) 設定された課題を向こう5カ年で解決するための目標の設定
- (6) 設定された目標を達成するための具体的事項の提示

※ (1)～(3)までは、町の総合計画に係わる。



5 専門部会で原案を作成する。

4の(1)～(6)までの事項に協議を重ねた結果を「総合計画」や「教育目標」に照らし、今後5年間で学校教育行政、社会教育行政が主体的に取り組むべき事項を洗い出し、①緊急度②必要度③効用度などを考慮して取りまとめる。



6 全体会議（社会教育委員会）を開催する。

各専門部会で作成した原案を全体会議にかけて検討し、十分な意見交換をして相互補充や調整を図る。



7 答申原案を作成する。

各専門部会の代表者によって、答申原案を作成する。



8 社会教育委員会が教育委員会に最終（案）を答申する。

社会教育委員会が、これまでの経過を踏まえて十分協議をし、教育委員会に答申する。

### (2) 計画期間

令和6年度から令和10年度までの5年間

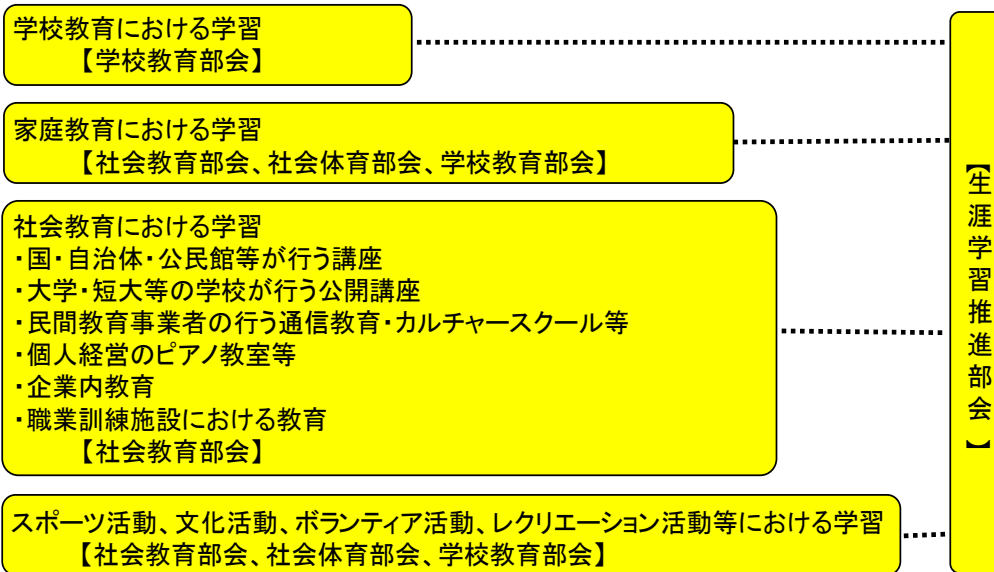


### (3) 生涯学習のイメージと部会の関係

#### 【趣旨】

- ①生活の向上、職業上の能力の向上や、自己の充実を目指し、各人がが自発的意思に基づいて行うことを基本とするもの。
- ②必要に応じ、可能なかぎり自己に適した手段及び方法を自ら選びながら生涯を通じて行うもの。
- ③学校や社会の中で意図して、組織的な学習活動として行われるだけでなく、人々のスポーツ活動、文化活動、趣味、レクリエーション活動、ボランティア活動などの中でも行われるもの。  
平成2年中央教育審議会答申による。

#### ○生涯学習の例



※出典：中教審生涯学習分科会配付資料(平成15年7月29日)

※会議は、基本的に全体会議の後に部会を開催することとし、部会での話し合いの結果や調整については次回の全体会議で行うこととします。

## 教育委員会職員一覧（社会教育関係）

教育長 菅野 勇次

教育部長 川瀬 吉治

- 【生涯学習課】 石田 晋一 （生涯学習課長）
- 勝又 淳 （社会教育係長）
- 有田 泰浩 （社会教育係）
- 阪口 諒 （社会教育係・学芸員）
- 和田 愛生 （社会教育係）
- 林 美紀子 （社会教育係：再任用）
- 大澤 孝介 （社会体育係長）
- 今城 和智 （社会体育係）
- 土井 秀樹 （教育部主幹兼生涯学習係長）
- 添田 雄二 （教育部主幹・学芸員）
- 林 隆則 （生涯学習係：再任用）
- 菅原 健一 （生涯学習推進員：会計年度任用職員）
- 【図書館】 岩岡 夢貴 （館長）
- 民安 園美 （図書係長・司書）
- 清水あずさ （図書係）
- 西川 美羽 （図書係・司書）
- 中山 元気 （札内分館図書係長）
- 林 洸太 （札内分館図書係）
- 佐藤 里香 （札内分館図書係・司書）
- 土井 秀樹 （教育部主幹兼忠類分館図書係長）
- 福田 真希 （忠類分館図書係・司書）